

Your Partner in Medication

yuyama

支え続けるのは、
薬物療法プロフェッショナル

YUNICOM-GX

次世代薬剤業務支援システム[ユニコム-GX]

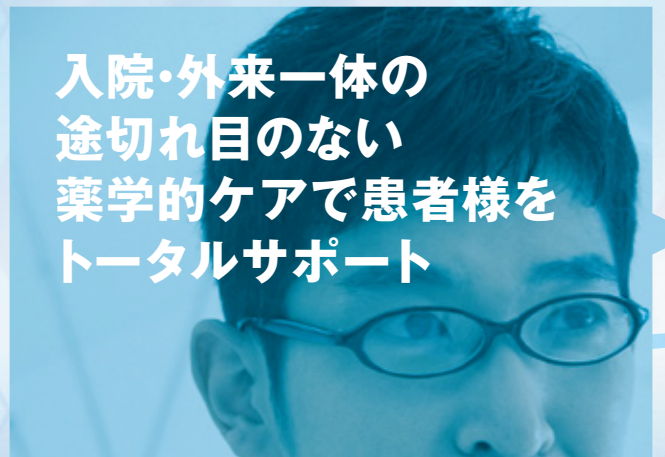
適切なタイミングで
注意の必要な
患者様の容態変化を
見逃さない



チーム医療で
必要な薬学的情報を
リアルタイムに
提供



入院・外来一体の
途切れ目のない
薬学的ケアで患者様を
トータルサポート



薬剤師業務のあらゆるシーンで、
ファーマシューティカル・ケアの理念に基づく

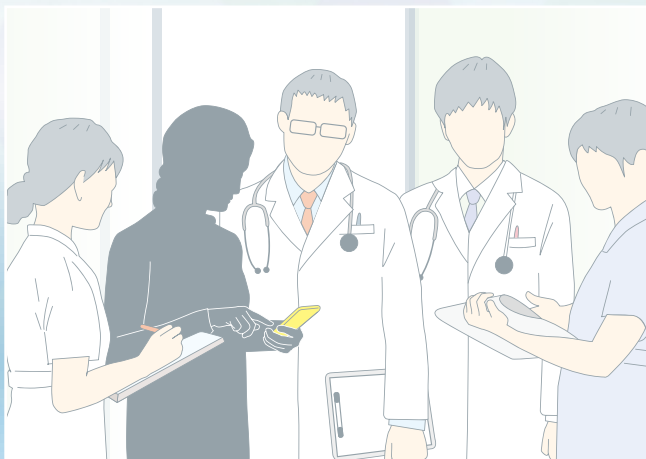
**薬物療法の
実践を支えます。**



薬学的ケア支援機能「FiSMo」

検査値や疾患・症状などの様々な条件から
注意の必要な患者様の
抽出・リスト化

FiSMo



業務支援モバイル「GX-handy premium」

迅速でスマートな
業務遂行を可能にする
マルチモバイル

GX handy premium



薬剤師対人業務支援システム「P2-Care」

業務単位ではなく
患者様単位で
一元的な情報管理

P2-Care

DM-GX

「処方提案」をも見据えたシステムを

NEW

薬学的ケア支援機能

標準システム

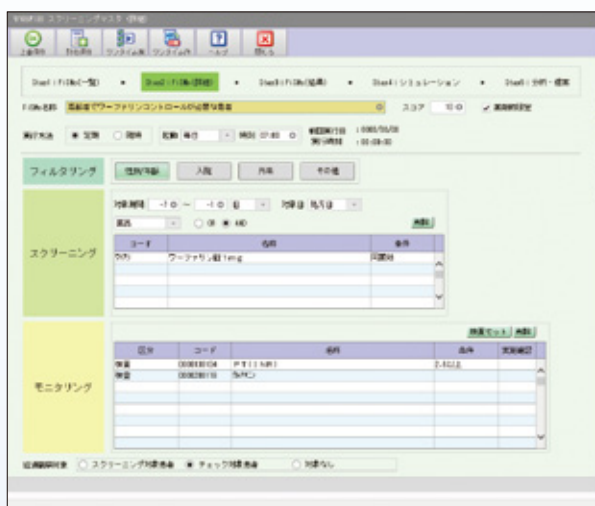
対象患者抽出に役立つFiSMoツール

高度な薬物療法業務は検査値によるフィルタリングや疾患、症状のスクリーニングが基本。ユヤマ独自のFiSMoツールで業務にあった患者選別とその後のフォローが可能です。

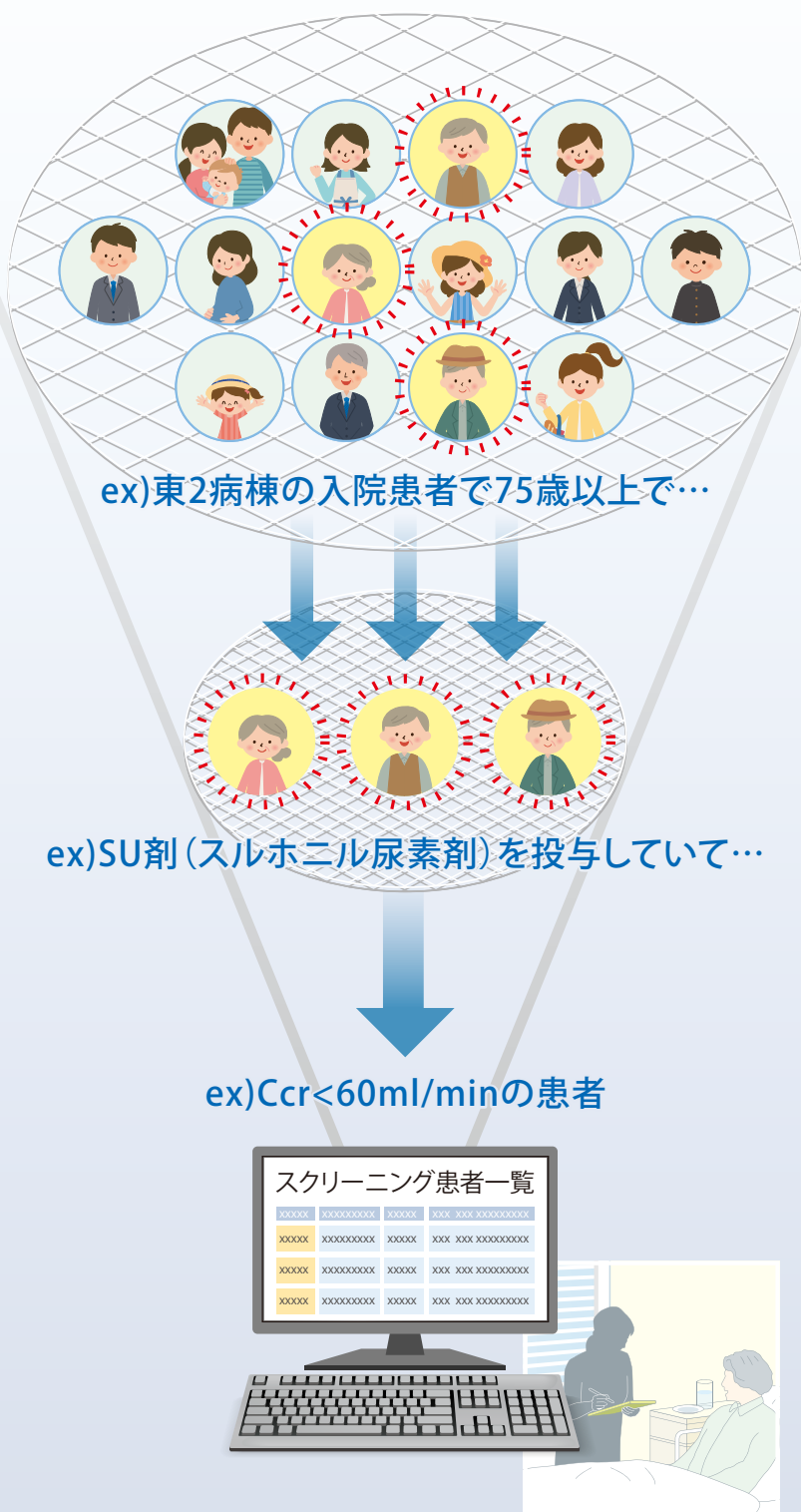
要観察患者を
管理

FiSMo

薬学的ケア支援機能



条件抽出画面



「Filtering」

患者グループ(年齢・性別・病棟・診療科)
例)入院患者で、65歳以上(高齢者)で…



「Screening」

薬学的条件(薬品・検査項目+対象期間)
例)ワーファリンを投与されていて…



「Monitoring」

薬学的ケアを必要とする患者の選択の条件
(検査値・有害事象・身体情報)
例)PT-INR値が2.6以上の患者はどのくらいいる?



対象患者一覧

XXXX XX XXXXXX
XXXX XX XXXXXX
XXXX XX XXXXXX
XXXX XX XXXXXX
XXXX XX XXXXXX
XXXX XX XXXXXX

症状確認、
フィジカルアセスメント、
副作用モニタリング 等

3大新機能

NEW

業務支援モバイル

オプションシステム

GXハンディPremium = 院内各所で薬剤師業務

様々なモバイル端末での薬剤師業務をGXハンディに統合。調剤室内における在庫管理、ピッキング時や最終鑑査時の薬品照合だけでなく、病棟業務日誌入力や医薬品情報閲覧など、病棟や他の場所でも広く活用できるツールです。

主な機能

- ・DI確認機能
- ・ピッキングGS1認証機能(調剤・注射)
- ・麻薬ピッキング機能(MONET)
- ・血液製剤ピッキング機能(LODMAN)
- ・最終鑑査機能
- ・充填GS1認証機能
- ・在庫管理機能(MELS)
- ・病棟業務日誌入力支援機能(リリース予定)

1台で多彩!

GX handy
premium
業務支援モバイル



NEW

薬剤師対人業務支援システム

オプションシステム

薬剤師の職能拡大にあわせ、患者様と関わる各シーンにおいて活用できるシステムです。それぞれの場面で必要となる情報確認や記録機能を有し、対人業務における職能発揮を力強くサポートします。

シーン別に
整理

P2-Care

薬剤師対人業務支援システム



薬剤師外来

外来がん化学療法の指導に必要な情報を一元管理します。また、抗がん薬投与スケジュールとの連携を行うため、レジメンの確認も可能です。

投薬窓口

投薬窓口での服薬指導に必要な情報を確認でき、チェック漏れを防ぎます。また、簡単に記録を残すことができます。

入院前対応

入院前の面談情報を連携すると、術前禁止薬のチェックが可能。医師・看護師との情報共有に役立てることができます。

標準システムラインアップ

処方監査支援機能

ワンステップ・アクションが可能な処方照会画面

処方照会画面ひとつで、処方に関わる様々な情報を確認することが可能です。また、様々な項目に対して自動でチェックを掛けることができるため、確認漏れを防ぎ、適切な薬学的介入実現をサポートします。患者様を近くで見ている病棟からも、処方監査・注射監査や調剤指示が可能です。

薬剤部門支援システム：
1-2、1-3、1-4、1-5、1-9

照会できる情報 例

- 薬品の添付文書情報、各種マスター呼出
- 前回処方との同画面上比較
- 処方歴・検査歴 等

処方チェック項目

- 相互作用
- 成分・薬効重複
- 長期投与
- 投与量
- 小児・高齢者禁忌
- アレルギー
- 配合変化
- 初回検査・定期的検査
- 禁忌病名
- 累積投与量

The screenshot displays a comprehensive prescription management interface. At the top, patient information for 'テスト太郎' (Testo Taro) is shown, including age (51 years) and sex (male). The main area is divided into three sections:

- 今回処方 (Current Prescription):** A table listing active prescriptions.

処方	薬品名	用法/手続	用量	単位	診療科
1	タミフルカプセル75mg	1日3回 朝・昼・夕食後	3錠	錠	脳神経外科
1	テスト水剤希釈単シロップ	1日3回 朝・昼食直後、晩る前	3mL	mL	小児科
- 処方歴・検査歴 (Prescription/Exam History):** A table showing a list of past prescriptions with columns for date, drug name, and dosage.
- 前回処方 (Previous Prescription):** A detailed view of a previous prescription, showing the same drug (テスト水剤希釈単シロップ) with a 4-day duration.

処方監査画面

This screenshot shows the Drug Information (DI) screen for 'バイアスピリン錠100mg' (Bia Aspirin 100mg). It provides detailed information including the drug's classification, manufacturer, and various safety warnings. The interface is organized into sections for drug details, warnings, and other relevant data.

DI情報画面

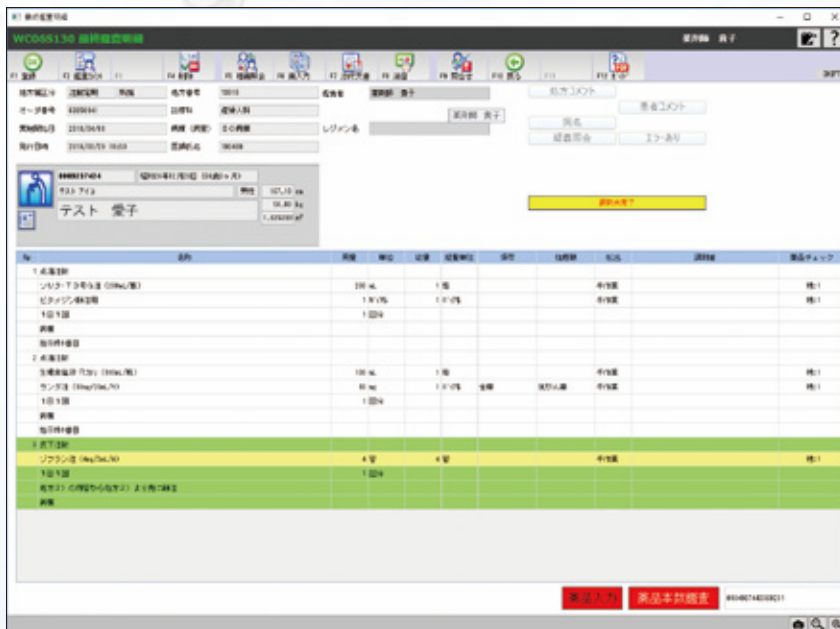
This screenshot displays the prescription check interface, which lists multiple prescriptions with columns for drug name, dosage, and status. It includes a search bar and filters to help users quickly identify specific items for review. The interface is designed for efficient monitoring and management of multiple prescriptions.

処方チェック画面

最終鑑査支援機能

GS1データベースを利用した最終鑑査

処方箋や薬袋単位の内容に含まれる薬品を、GS1データベース読み取りにより最終チェック。薬品の取り揃え間違いを確実に防ぎます。



調剤進捗管理機能

病棟からの問い合わせ対応の負担軽減

病棟ではWEB画面で調剤室での調剤完了状況を把握できます。看護師から薬剤師への問い合わせ対応の負担を軽減できます。



処方統計・薬品使用量統計・薬品投与者検索

処方情報に基づいた統計・集計

処方情報データを解析し、統計・集計を行います。MDBankデータを組み合わせることで、集計結果と薬価情報をあわせて確認可能。

等価換算支援機能

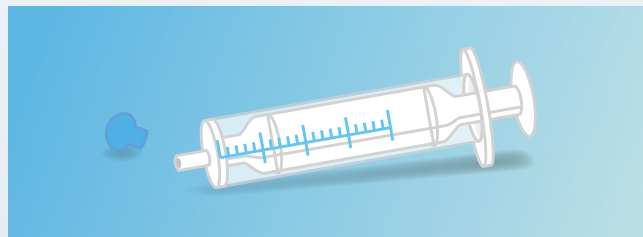
換算値のシミュレーション

向精神薬の分類ごとに換算値を設定することで、処方量から等価換算を行います。任意の処方を取り込んで換算できるので、患者様の服用量評価の効率化を図れます。

簡易懸濁法支援機能

簡易懸濁法の運用支援

簡易懸濁専用の内規を設定可能。形体に合わせた薬袋出力・調剤の取りまとめを自動で行います。経管投与不可薬品のチェックも確実に行えます。



医薬品集作成機能

採用医薬品集の作成

院内・院外等、採用薬の情報をもとに医薬品集を作成します。MDBankのデータを利用するため、速やかに作成でき、文章更新作業も必要ありません。

標準システムラインアップ

薬剤部門に特化したシステムならではのきめ細やかな帳票をご提供します。

業務支援箋

新規 再 定期処方箋 PKR 1/2

病棟: **南5病棟 (501)** 処方番号: 110024
 処方日: 0000年00月00日
 プリクリ: F13 307 診療科: **内科**
 処方医師: **テスト太郎様** 処方局: 内科
 処方時間: 令和00年10月 1日 (14時00分) 処方時間: 0000年00月00日 00:00
 処方所: 内科 処方局: 000000000000000000

No	薬品名/用法	用量/回数	総量	単位
1	アピローン錠 (200mg)	1錠 1日3回	3錠	錠
2	アピローン錠 (30mg)	2錠 1日2回	4錠	錠
3	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
4	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
5	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
6	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
7	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
8	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
9	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
10	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
11	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
12	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
13	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
14	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
15	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
16	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
17	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
18	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
19	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠
20	アピローン錠 (100mg)	1錠 1日2回	2錠	錠

処方所: テスト総合病院 薬剤科
 処方時間: 0000年00月00日 00:00
 処方局: 000000000000000000

テスト総合病院 薬剤科

薬袋

のみぐすり 1/1

2階病棟 内科
緊急処方 処方日: 0000年00月00日

F13 307
テスト太郎様

1日3回 7日分

毎食後

1回に 錠剤 各1錠ずつ (2種類)

カプセル 1個
ご注意事項 1冊
おのみにください

【ご注意事項】
中の錠剤をよく飲んでください。
水筒水 (水筒裏面) に添付下さい。

アピローン錠100mg	1錠	アピローン錠100mg	1錠
アピローン錠100mg	1錠	アピローン錠100mg	1錠

テスト総合病院

東京都中央区1丁目4番30号 06-6360-5155

注射ラベル

南4病棟 (452) 緊急注射

実施日: 令和00年00月00日 消化器科
 0008043507 処方No: 000000130179
 テスト太郎 発行日: 0000/00/00

テスト太郎様

RP 1 点滴注射液
 ソリタックスH輸液(500mL/B) 1B
 ビタミン静注用 1V
 アスכולピン酸注(500mg/2mL/A) 1A
 5mL 注射用水(5mL/A) 1A
 強力ネオミノファーゲンシー静注(20r
 50mg7d)注射液(静脈用)(50mg/10mL
 1A
 トラキサミン注10%(1g/10mL/A) 1A

次頁あり

注射集計表

定時注射 病棟別薬品集計表 1/1

南4病棟
 締め日時: 0000年00月00日 00時00分
 実施日: 0000年00月00日 - 0000年00月00日

薬名	数量	単位
アピローン錠(100mg/錠)	2	錠
E.L.-3号(100mL/袋)	4	袋
100mL イントラフラット(5.25% (25g/100mL/70)	1	本
ブドウ糖注射液(500mL/瓶)	4	本
ブドウ糖注射液(500mL/瓶)	15	本
ブドウ糖注射液(500mL/瓶)	1	本
100mL 生食消化剤(100mL/70)	22	本
ソリタックスH輸液(500mL/袋)	4	袋
500mL ソリタックスH輸液(500mL/70)	6	袋
ビーズスワイン2号輸液(110mg/袋)	1	袋
ビーズスワイン2号輸液(500mL/袋)	2	袋
5% 100mL ブドウ糖注射液(100mL/70)	2	本

テスト総合病院



薬剤情報提供書

【お薬の説明書】

患者氏名: テスト 太郎様

処方日付: 2020年09月09日

薬名	処方量	剤形	剤数	単位
...
...
...

QRコード

抗がん薬調製手順書

調製記録

患者氏名: テスト 太郎様

処方日付: 2020年09月09日

薬名	濃度	剤数	単位
...
...
...
...

業務支援箋

前回量との比較の記号、刻印番号、取り揃え総量、棚番号を印字し、ミスのない取り揃えと監査を支援します。

薬袋

定型サイズ各種の薬袋にあわせて印字可能です。薬袋サイズは薬品の量により自動で選択。運転制限マークや医薬品画像の印字も可能です。

薬剤情報提供書

画像・指導文情報だけでなく、運転制限マーク、薬薬連携を目的としたQRコード*の印字も可能です。
*QRコードは(株)アンソウウェブの登録商標です。

注射ラベル

施用ごとの出力が可能です。患者名、薬品名だけでなく、バーコードを印字することで病棟での3点認証を支援します。

注射集計表

病棟別・日別の総量を印字した集計表を印字し、注射薬の取り揃え時にご活用いただけます。全病棟または患者様ごとの集計表も出力できます。

抗がん薬調製手順書

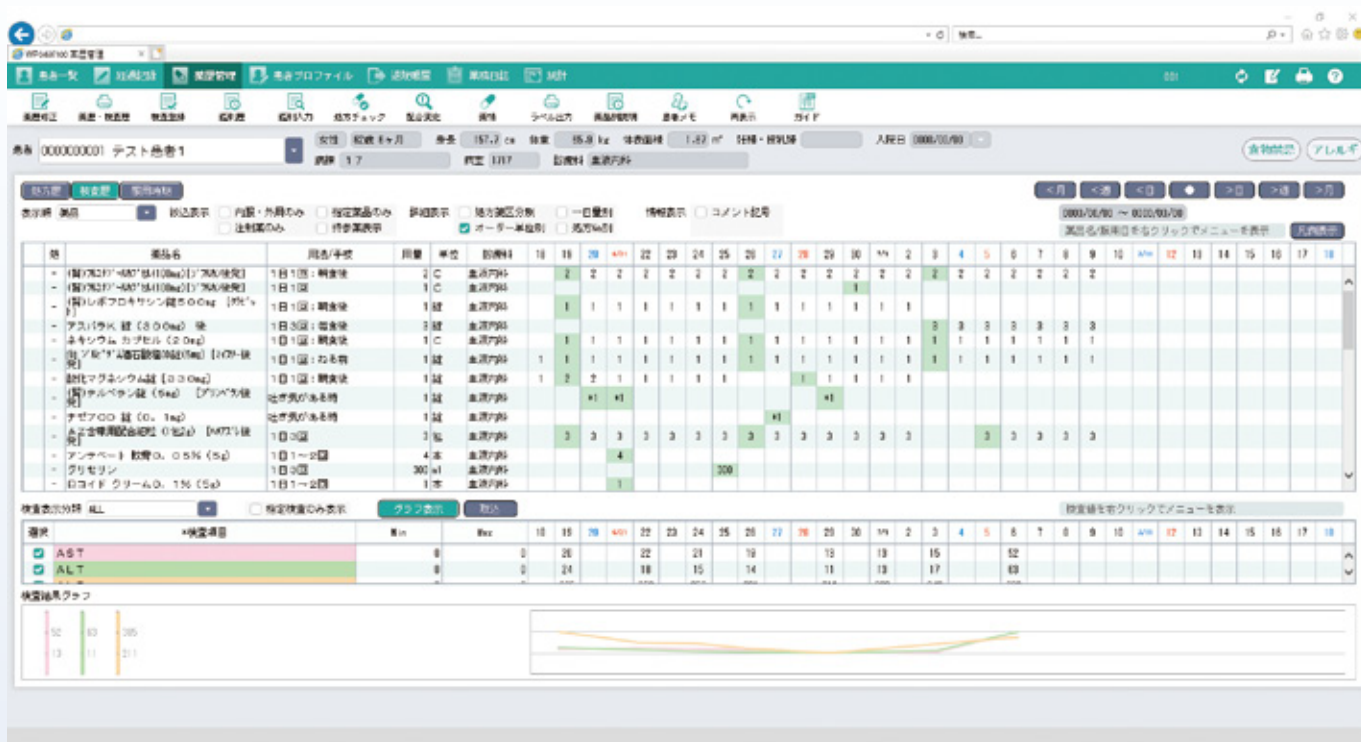
あらかじめマスタに設定した濃度に従い、薬品の濃度から抜き取り量を自動計算し、印字します。

オプションシステムラインアップ

病棟業務支援システム

薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務から持参薬鑑別業務まで
病棟で活躍する薬剤師を強力にサポート

Pharma Road-GX ファーマロードGX



薬歴と検査歴の評価や 副作用モニタリング。

患者個々の処方内容と検査情報を同一時系列上で管理。検査値異常の場合はマーカーがつくため、薬物療法の効果確認などを容易に行えます。また、服用中の薬剤から副作用の被疑薬特定も簡単に行えます。

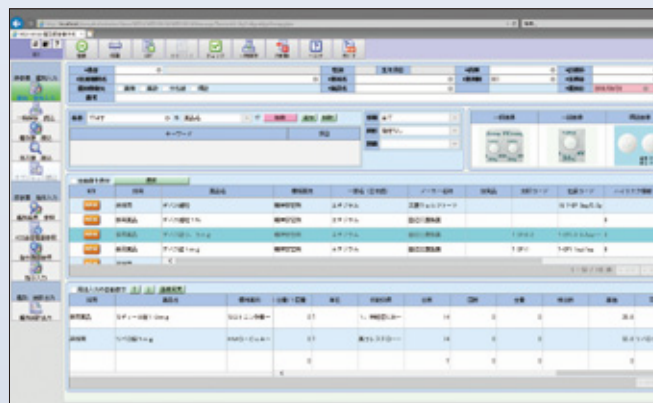
病棟業務日誌、病棟ごとの 業務時間集計をサポート。

クリックだけのカンタン操作で、様式30に基づいた病棟業務日誌の作成、および病棟ごとの業務時間集計を行えます。実績一覧画面では、病棟ごとに合計時間や達成率を一目で把握。病棟の電子カルテ端末からも入力OK。

処方薬と持参薬のチェックも。 安心の持参薬一元管理。

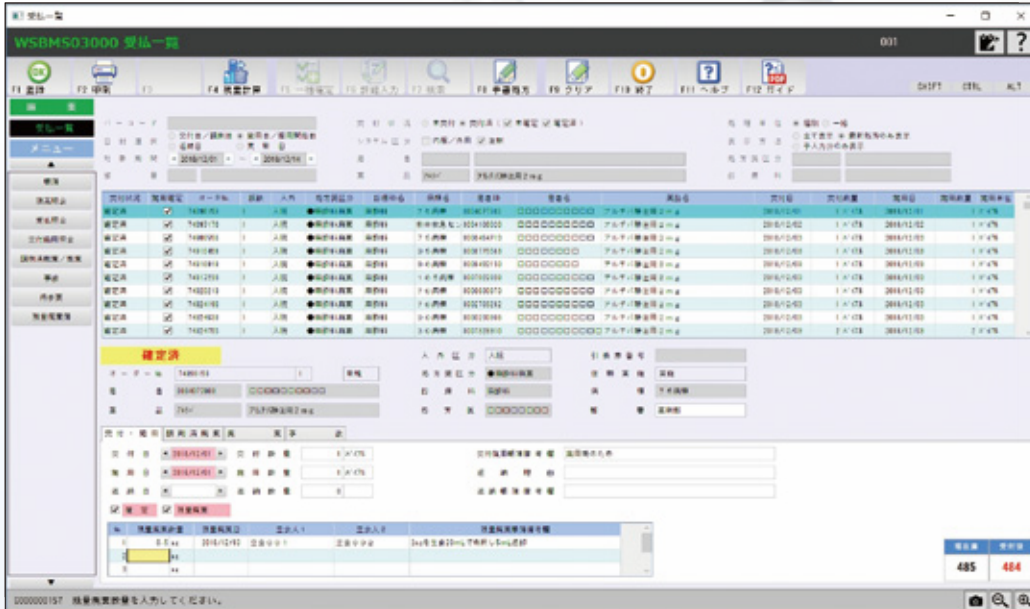
持参薬鑑別報告書は採用薬品の中から同成分薬・同効薬を自動抽出して印字。鑑別報告書の発行と同時に薬歴登録が可能です。鑑別結果を医師の持参薬継続指示データとして電子カルテへ送信することもできます。

※電子カルテとの連携可否につきましてはHISベンダーへの確認が必要です。



特定薬剤管理システム

麻薬や血液製剤など特定の管理と帳簿が必要な薬品を1つのシステムで管理します。



MONET 簡易受払入力画面

MONET 受払一覧画面

麻薬管理システム

麻薬管理システム **MONET**

法規制に準拠した麻薬管理

麻薬帳簿・届出書各種・年間報告書等、麻薬管理に関わる書類を作成できるシステムです。処方データを取り込むことで、入力作業の効率化と入力ミスリスクを軽減できます。

特定生物由来製品管理システム

特定生物由来製品管理システム

LODMAN

特定生物由来製品の記録保存

YUNiCOMから処方データを取り込んで製造番号を割り当てることで書き間違いや転記ミスを防止。電子保存されたデータは目的に応じて簡単かつ迅速に検索できます。

抗菌薬管理システム

抗菌薬の使用状況の把握

処方データから抗菌薬データのみを抽出し一覧で表示。指定した期間の累積投薬日数を確認し、抗菌薬の使用状況を簡単に把握することができます。

毒・劇・向精神薬管理システム

台帳作成と残高集計

YUNiCOMの処方履歴から毒劇向精神薬データのみを抽出。入庫・出庫の登録をすることで残高の管理ができます。

院内トータル物品管理システム

院内トータル物品管理システム

院内トータル物品管理システム



医薬品も診療材料も日用品トータル管理

医薬品、診療材料、消耗備品など、病院内で流通・消耗するすべての物品を管理できます。定数を設定したオンライン自動発注も可能です。



医薬品データベース

自社開発だからこそ実現できる 成長型医薬品総合データベース

医薬品と薬物治療に必要な医薬品関連情報を
1,419万件※超まで創り上げた業界最大・秀逸な
医薬品データベースです。

YUNiCOM-GXでは、処方チェックをはじめ様々な場面で
必要となる医薬品情報をMDbankに集約し、
薬剤師業務を強力にサポートします。

※2017年5月現在。



WEB データ配信サービス

毎月更新されるデータベースをwebから
ダウンロード可能。最新データベースを
いち早く入手いただけます。

搭載データベース



薬品基本DB	指導文DB	錠劑刻印DB
薬品成分DB	相互作用DB	注射薬配合変化DB
GS1データバーDB	OTC薬相互作用DB	病名禁忌DB
注射成分DB	投与量DB	アレルギー分類DB
添付文書DB	投与制限DB	定期的検査DB
要約添付文書DB	医薬品画像DB	妊婦・授乳婦DB

データベース活用例



オーダー受信時の処方チェック

薬剤業務支援システムYUNiCOMへの 基本マスター取り込み (薬品・指導文・画像)

DI検索 (ユヤマ専用端末でのみ)

採用医薬品集作成

持参薬鑑別 (ユヤマ専用端末でのみ)

オプションシステム



医薬品情報WEB検索システム

MDview

電子カルテ端末でさらに充実した検索機能を希望される
ユーザー様へ、フリーライセンスのDI検索システムです。



- ◆漢方薬番号検索 ◆添付文書文言検索 ◆治療薬分類検索
- ◆副作用被疑薬検索 ◆配合変化情報検索

電子カルテ仕様医薬品データベース

MDmaster

電子カルテで医薬品情報の利用を希望されるユーザー様へのご提案。
MDbankで院内の医薬品情報を一元管理できます。



- ◆オーダー発行時の処方チェック ◆電子カルテ画面でのDI参照
- ◆持参薬全件マスター利用 ◆電子カルテ薬品マスターへの取り込み

※実現できる機能はHISベンダーによって異なります。

薬剤マスター 一元化機能

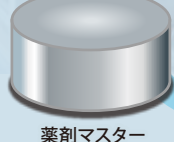
Synchro Master

シンクロマスター

薬剤マスターの二重登録をなくして、より安全に!



部門システム
YUNiCOM



薬剤マスター

薬剤業務支援システム

YUNiCOM

病院情報システム（電子カルテシステム）と部門システム間で、薬剤マスターを同期させることにより、どちらか一方で医薬品情報の登録を行うと、自動的にもう一方へ内容を反映させることができます。

※詳しくはお問い合わせください。

病院情報
システム

病院情報システム
(電子カルテシステム)



薬剤マスター



システム監視体制とアフターサポート



システム監視

- システムの状態を常に監視し、異常発生時には画面表示とアラームでお知らせします。
- システム障害を未然に防止するために、自動復帰や警告表示機能を搭載しています。



システム専用
サポートセンター

- 平日の営業時間帯（8時30分～17時30分）はシステム専用コールセンターにてユーザー様からの問い合わせを常時受け付けております。

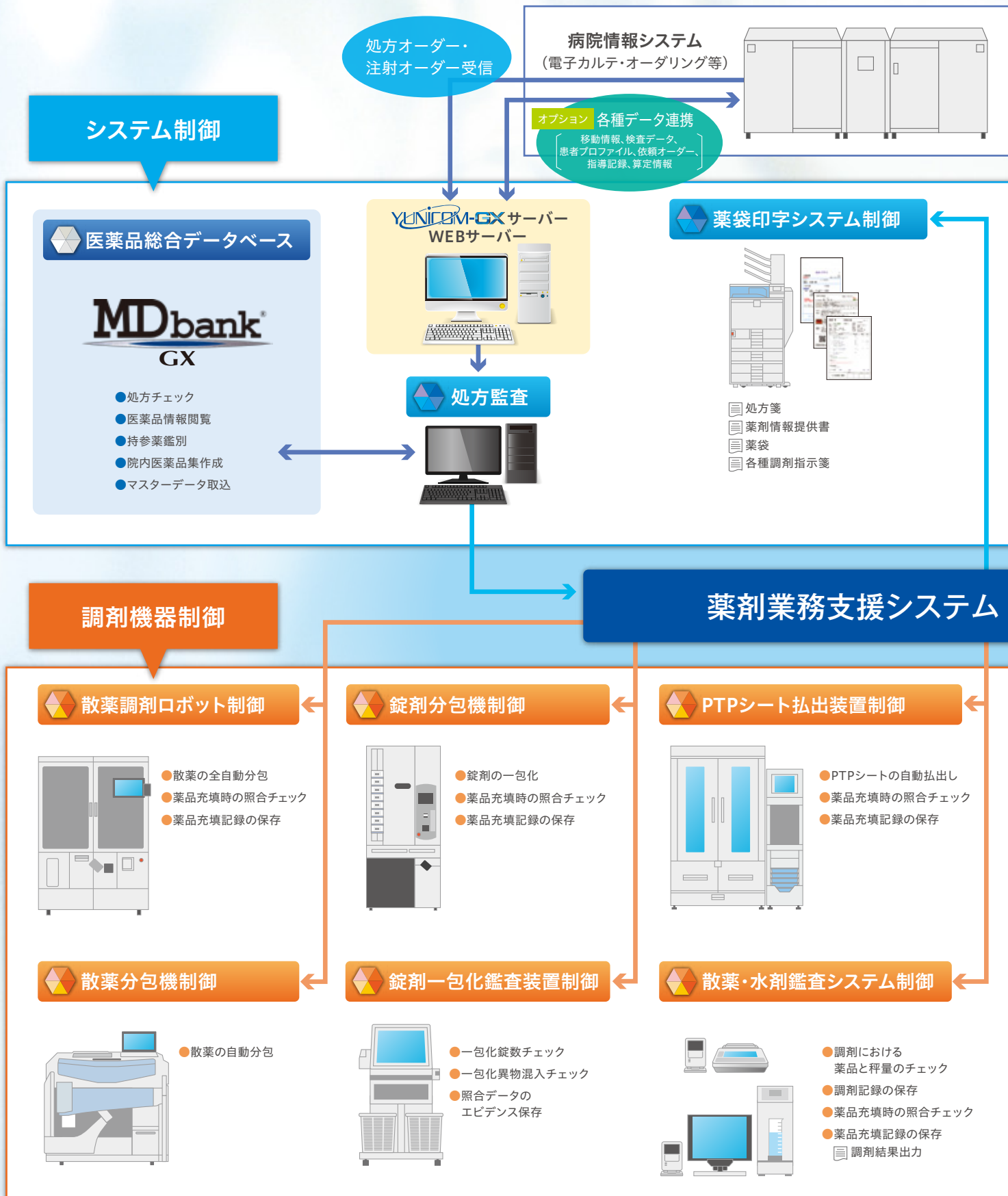


オプション
24時間
システムサポート

- 365日24時間、いつでも専用コールセンターで受付いたします。
- 夜間、休日などの万が一の時も心強いシステムです。

YUNICOM-GXの概要

調剤室内業務・リスクマネジメントをフルサポート。
電子カルテ端末からもアクセスできるシステムで、
遠隔監査を可能とし、病棟での活躍を支援します。





※各調剤機器本体は別途販売となります。

オプションシステム

医薬品情報WEB検索システム

MDview

オーダーリング仕様医薬品データベース

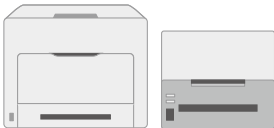
MDmaster

調剤ラベル発行



- お薬手帳ラベル
- 水剤・外用ラベル
- 患者ラベル

注射帳票発行



- 注射処方箋
- 集計表
- 注射ラベル
- 調製手順書

標準システム

NEW

薬学的ケア支援機能 (FiSMo)

FiSMo

処方監査支援機能

最終鑑査支援機能

調剤進捗管理機能

簡易懸濁法支援機能

処方統計・薬品使用量統計・
薬品投与者検索

医薬品集作成機能

等価換算支援機能

オプションシステム

NEW

業務支援モバイル (GX-handly premium)

**GX-handly
premium**

NEW

薬剤師対人業務支援システム (P2-Care)
(薬剤師外来・投薬窓口・入院前対応)

P2-Care

病棟業務支援システム

特定薬剤管理システム
(麻薬・特定生物由来製品・
抗菌薬・毒・劇・向精神薬)

院内トータル物品管理システム

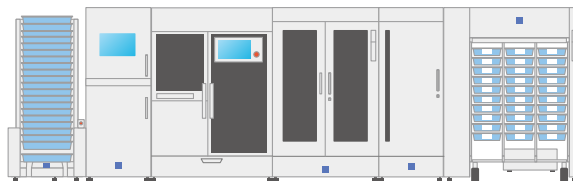
YUNICOM-GX

持参薬鑑別支援装置接続



- 候補薬品抽出
- 撮影データのエビデンス保存
- 返品薬確認
- 鑑別報告書

注射薬自動払出装置接続



●注射薬ピッキング作業の自動化 (患者ごと・RP単位ごと・施用単位ごとでセット)

- 注射箋
- 輸液ラベル
- 注射薬袋

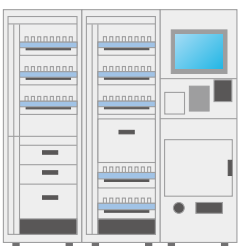
●注射返品薬の自動仕分け

抗がん薬調製支援システム接続



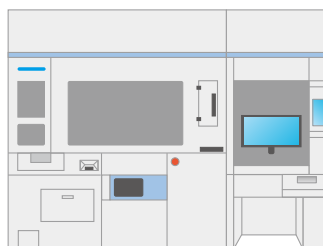
- 調製手順ナビゲーション
- 調製時の薬品・重量チェック
- 調製画像のエビデンス保存
- 遠隔鑑査
- 調製手順書

注射配置薬管理システム接続



- 注射薬の在庫管理
- 注射薬のセキュリティ管理
- ピッキングミス・投薬ミスのリスクマネジメント

抗がん薬混合調製ロボット接続



- 抗がん薬自動調製
- 確実な曝露対策
- 輸液バッグの別室管理

もっとも使われている「標準システム」をパックでご提供

YUNICOM-GX pack

新たに薬局内システム化を検討される病院様に最適!!

多数の施設への導入実績を誇るユヤマ薬剤業務支援システムYUNiCOM(ユニコム)。YUNiCOMユーザー様と約20年の年月をかけて蓄積した機能や多数の導入経験で培ったノウハウを凝縮し、標準機能をパッケージ版としてまとめたものが「YUNiCOM-GX pack(ユニコム・ジーエックス・パック)」です。

1

蓄積した
標準機能を全て
パッケージ化!

2

手の届きやすい
導入費用!

3

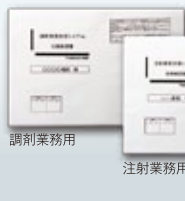
ノンカスタマイズで
スムーズな導入を
実施!

社会的インフラは止められない。

ユヤマの調剤システムは【YQMS】によって守られています

システムの受注後すぐに、地区担当のSEがユーザー様に入り込みます。稼動までに上長が**7度にわたるDR(デザインレビュー)**を行い、厳しい品質管理を実現します。

数百ページに及ぶ仕様確認書と帳票サンプルをベースに、導入打ち合わせのスタート時からユーザー様に割り振られたシステムの担当者(SS部スタッフ)が入り、綿密な仕様策定を行ってまいります。



YQMS=システムを対象に
ユヤマ独自で設けた
医療機器レベルの品質管理体制。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

YUYAMAのSDGsへの取り組み
これまで、これからも。

私たちYUYAMAは、SDGs達成に向け、
持続可能な社会実現を目指し、これからも
活動を続けていきます。

SDGs…持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)。2015年9月の国連サミットにおいて採択された、2030年までに地球規模で解決すべき国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成されています。



Your Partner in Medication



製造元 株式会社 湯山製薬所 発売元 株式会社 ヌ ヤ マ

大阪本社 | 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目4番30号
TEL.(06)6868-5155(代) FAX.(06)6868-5154(代)
東京本社 | 〒130-0012 東京都墨田区太平2丁目10番10号
TEL.(03)3829-9511(代) FAX.(03)5611-2011(代)

カタログの掲載内容は2022年3月現在のものです。
製品の改良のため仕様・デザインを予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

ご購入に関するお問い合わせ・ご相談・お申し込みは下記へご一報ください。

ユヤマのホームページはこちら!!



世界各国のユーザー様の
活用事例はこちら!!



無償プレゼント実施中!

【開局でお手伝いできること】
【無菌製剤室を作ろう!】



(株)ユヤマ
JQA-QM5424
(株)湯山製薬所